

目的・目標

日本の優れた舞台芸術作品が海外の芸術見本市等で継続的に紹介され、招聘・巡回公演等の実現につながるように、舞台芸術の海外コーディネーター育成により恒常的な支援の構築を行う。

概要

舞台芸術の海外コーディネーター育成に向けて、劇場・音楽堂等や芸術団体等から広く公募・選出し、3年間に渡り研修・視察・交流等を重ね、文化施設や芸術団体等とも連携し、芸術見本市等に出展し、招聘や巡回等の海外展開につなげる。日本の優れた舞台芸術作品が海外で継続的に紹介され、広く流通できるように恒常的な支援体制を構築する。

3年目までの取組

2024年度 準備、選考、初期研修・視察期：育成者を広く公募し、選考。基礎的な研修（講座）を開講するとともに、CINARSやYPAM等を視察し、関係者等と交流。

2025年度 中期研修、出展試行、機運醸成期：引き続き、講座研修と新たな見本市等で現地スタッフによる研修を行う。また、中間報告会を実施。

2026年度 海外出展、報告期：文化施設や芸術団体等とも連携し、作品を海外見本市等へ出展、プレゼンテーション等。成果報告会の実施と評価、報告書の作成。



撮影：大野隆介

5年目までの取組

2027年度 海外出展拡大期：3年間の実績を踏まえ、作品を海外見本市等へ出展。評価と分析。フェスティバルや劇場巡回の支援。共同制作や委嘱制作の情報収集と提供。

2028年度 海外展開継承期：5カ年のPDCA評価の実施。成果報告会の実施、報告書の作成。ツアー展開や共同制作や委嘱制作を通じた新たな専門人材の育成。



撮影：大野隆介

中核となるアドバイザー

アドバイザー／講師

- ・新井知行（横浜国際舞台芸術ミーティング シニアプログラムオフィサー）
- ・小野塚央（庭劇団ペニノ 制作）
- ・齋藤啓（舞台制作者）
- ・塩谷陽子（ジャパン・ソサエティー 芸術監督）
- ・夏目雅也（舞台監督・技術監督）
- ・橋本裕介（ベルリン芸術祭パフォーミングアーツシーズン 芸術監督）
- ・丸岡ひろみ（横浜国際舞台芸術ミーティング ディレクター） 他

育成対象者：10名

舞台芸術海外コーディネーター

舞台芸術スタッフ（制作、ドラマトウルク、舞台監督、劇場職員等）として、3年以上の経験を有する者から公募

(分野・ジャンル)

・舞台芸術(演劇、舞踊等)

(渡航先の国・地域)

・カナダ・ケベック州:CINARS

モントリオールで隔年開催される北米最大規模の国際舞台芸術見本市。50ヶ国以上から1,200人を超える舞台芸術のプロフェッショナルが参加し、世界各地の約200作品が紹介される。

(国内外の連携・協力体制)

・横浜国際舞台芸術ミーティングYPAMを通じた内外関係者とのネットワーク

成果目標（見込）

目標値

企画段階から海外公演等に登用される若手クリエイター等の数 10人

国内外の団体・企業等との連携数（連携団体数、事業提携数、拠点形成数など） 20件

プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数 20人

国内外で展開される公演・展示等の数 5回

国内外で展開される公演・展示等の入場者数 1,000人

【補足資料】

